

令和6年度 さいたま市立上大久保中学校 学校経営方針

「 上中生のモットー 」
・・・共に協力して、感動を体験しよう・・・

1 学校教育目標

「温かい学校 感動あふれる学校」

2 目指す学校像

- ・時を守る …… 時間やきまりを守り、整然と生活できる学校
- ・場を浄める …… 学ぶ場にふさわしい、明るくきれいな学校
- ・礼を尽くす …… 人への温かさを大切にし、さわやかなあいさつのできる学校

3 学校経営方針

◎ 全教職員の**温かさ**と**チームワーク**をもって、**感動あふれる学校づくり**を目指す
～生徒一人ひとりの Well-being（幸せ）を保障する学校を目指して～

（特に、温かさについては、教職員一人ひとりが自分の言動に対して、常に温かい言動、温かい対応になっているかを確認しよう！）

- ・厳しさと温かさをもって、一人ひとりの生徒を大切にした教育を展開する。
- ・教職員一人ひとりが創意工夫を生かし、力のある生徒の育成、力のある学校づくりをすすめる。
「力のある生徒」：①人として生きていくための力（確かな学力、豊かな心、健康・体力）
②知・徳・体・コミュニケーションのバランスのとれた力
「力のある学校」：①教職員の力（授業力・指導力・チーム力）
②家庭、地域、関係機関との連携力
- ・生徒が生き生きと学習できる潤いと落ち着きのある環境づくりに努める。
- ・生徒、教職員、保護者、地域の連携を密にし、地域に根ざした学校づくりをすすめる。

4 指導の重点

- (1) 生徒一人ひとりの実態に応じた確かな学力の育成を図る授業の工夫・改善、家庭学習の定着化
- (2) 信頼関係を基盤とした積極的な生徒理解、生徒指導、教育相談
- (3) 温かな心の育成：学級活動、道徳の時間、清掃活動等の充実
- (4) 自己肯定感を高める指導の推進、達成感を味わえる教育活動の推進
→委員会活動や学校行事等を通しての*エージェンシーの育成
- (5) 学校運営協議会を核とした地域・保護者・学校による協働活動の充実

※「エージェンシー」予測が困難な時代を生きる子どもたちには、自らが社会の造り手となり、目の前の課題などを解決することを通して、持続可能な社会を維持・発展させていく態度や、変革を起こすために目標を設定し、振り返りながら責任ある行動をとる力<令和6年度教育行政方針より>